



# SENSHOJI YUKARI NEWSLETTER

1994-2024

ゆかり通信

VOL. 316

令和 6年 5月

北海道千歳市清水町1-14 鶴寶山 千正寺

TEL: 0123-23-2442 FAX: 0123-24-9883

ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

## 2024年千正寺カレンダー 5月の言葉



851回目の親鸞様お誕生日

明日ありと思ふ心の仇桜  
夜半に風の吹かぬものかけ  
(親鸞聖人)

寒かった冬を抜けてやっと春になってきましたね。

この文章を書いている今は4月の後半。桜はまだ千歳には見当たりませんが読んでくださっている方にはちょうど見頃だったりするのでしょうか。

今月のことばは、親鸞聖人が詠まれたと伝わる和歌です。

親鸞聖人が9歳の時、仏門に入られる決心をされ天台座主である慈円和尚を訪ねましたが、すでに夜だったので、「明日の朝になったら得度の式をしてあげましょう」と言われました。しかし、聖人は「明日まで待てません」とおっしゃられ、その時詠まれたのがこの歌と伝わっています。

この歌の意味は、「今美しく咲いている桜を、明日も見ることができたらと安心していても、夜半に強い風が吹いて散ってしまうかもしれない」ということですが、親鸞聖人は、自分の命を桜の花に喩え、

「明日自分の命があるかどうか分からない、だからこそ今を精一杯大事に生きていきたい」との思いが込められています。

誰もが親鸞聖人のようにやるべきことを見極め、大切だと思ったことはすぐに実行しなければならないとはわかってはいても、ついつい先延ばしにしたり、なかなかすぐに動くということは難しかったりしますよね。ずぼらな性格の私は特にそうでした、後回しできそうな事をためてしまい「すぐにやっておけば良かった」と後悔しきりの人生です。

そんな私にとってついつい見入ってしまうのが「定年後にやりたかった100のこと」という動画。

インターネットのユーチューブに60代の男性が投稿している作品なのですが、今まで仕事人間だった男性が定年を迎え今までやりたかったことにチャレンジしていくという内容。人生初のそば打ちだったりや魚釣りに行って不器用ながら釣った魚をさばいたり、若い頃からずっとやってみたかったオカリナを習いにいたり等々、無理をせず本当に楽しそうに体験していく所になんとも羨ましい気持ちが湧いてしまい、ついつい見入ってしまいます。

思い立ったらすぐ行動が勿論一番だと思いますが、少し時間ができた時に思いが溜まっていることをこの新年度をきっかけにチャレンジしてみるのも良いかもしれませんね。

(文：行武秀明法務員)